

# 社会環境実態調査が実施されました!

例年、実施されております社会環境実態調査が今年度も実施されました。御協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

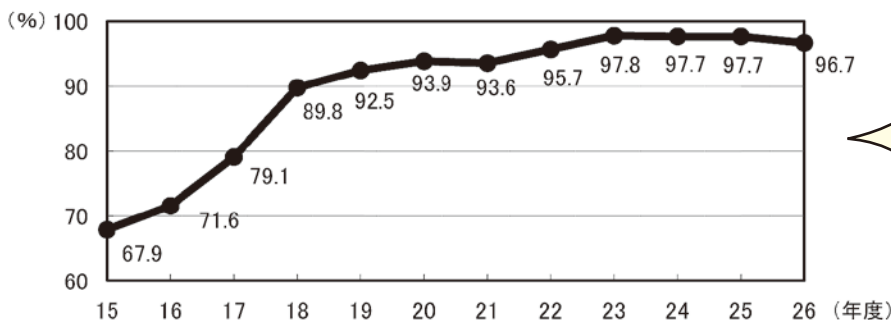
今年度の調査は、カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶、書店の約850店舗を対象として7月から9月にかけて調査を行いました。この調査では、青少年の健全育成に影響の大きい各種営業の実態を明らかにし、青少年行政を進める上での基本データを収集することにより、地域の青少年を取り巻く社会環境の健全化の取組に役立つため、県と市町村が連携して行っているものです。また、皆様が実際に各店舗に足を運び調査を行うことにより、営業店舗に対し規範意識向上等の効果もあると考えております。

今回の調査で問題があった店舗には、行政職員が立入調査を行い、問題点を確認した上で指導等を行います。

## 《主な調査結果の概要》

### ●カラオケボックス（調査実施店舗数362店）

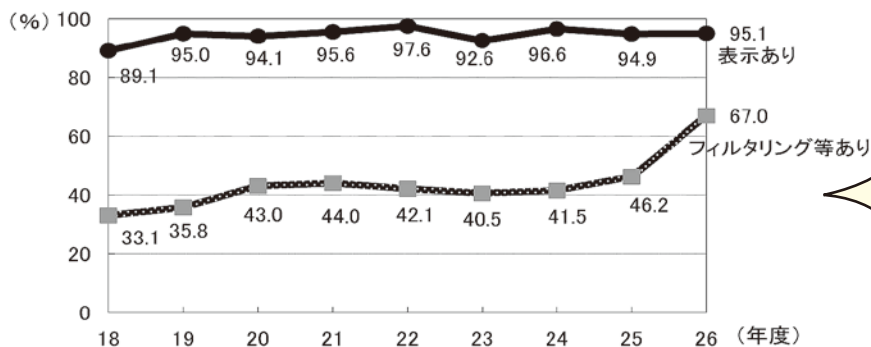
（18歳未満の深夜立入禁止表示を行っている割合の推移）



○「18歳未満の深夜立入禁止の表示」は、350店舗（96.7%）で実施。

### ●インターネットカフェ・まんが喫茶（調査実施店舗数103店）

（18歳未満の深夜立入禁止表示、フィルタリング等の措置を行っている割合の推移）

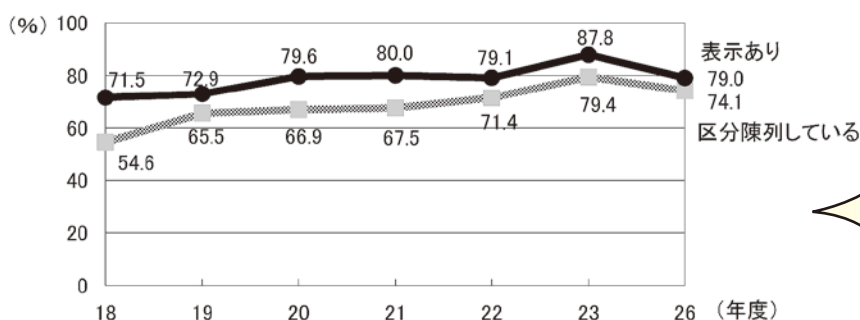


○「18歳未満の深夜立入禁止の表示」は、98店舗（95.1%）で実施。

○青少年に有害情報を読覧させないための「フィルタリング等の措置」は、69店舗（67.0%）で実施。平成25年度調査と比べ20.8%の大幅な上昇。

### ●書店（調査実施店舗数386店）

（有害図書類（本・雑誌等）の区分陳列及び販売・閲覧等禁止表示を行っている割合の推移）



○有害図書類（本・雑誌等）は、162店舗で取扱い。

・「区分陳列」→120店舗（74.1%）で実施。

・「販売・閲覧等禁止表示」→128店舗（79.0%）で実施。

※平成24年、25年度 書店は調査対象外のため実績なし